

# 第3回(平成27年度)白川静漢字教育賞

## 最優秀賞

福井県南越前町立南条小学校  
教諭 山内 朋江氏



### 実践内容

#### 小学校での実践

- (1)主体的な漢字学習をめざした授業づくり
  - ・「聴く(いろいろな人の話を)」「つなぐ(友達同士・学習対象物と)」「もどす(児童に・学習対象物に)」を意識し、活動の仕方や教具の提示の仕方、発問等を工夫
  - ・漢字の成り立ちの理解につなげるために、古代中国の城壁、廟のモデルを制作し、分かりやすく解説
  - ・友達と協力して熟語を作るなどの指導内容を工夫
- (2)中学校教員を対象に出前授業を実施
- (3)他地区の教員対象に白川文字学を活かした漢字学習の授業についての研修会を実施し、普及を推進

### 評価のポイント

- ・アイデアと工夫で次々と児童の理解を助ける教材・教具を作成している。
- ・継続的に白川文字学を活かした漢字学習のモデルづくりを実践し、漢字教育指導の模範である。
- ・教員対象に研修や出前授業を実施し、白川文字学の普及に努めている。

## 優秀賞

山口県立山口中央高等学校

教諭 牛見 真博氏

### 実践内容

#### 高等学校での実践

- (1)漢字と中国古代社会とのかかわりについて分かりやすく指導
  - ・甲骨・金文について(白川氏・阿辻氏の著作を輪読)
  - ・古代文字の書写(漢字カルタの使用)
- (2)古代文字を使った篆刻作り
- (3)字源を活用した教科指導
  - ・漢文での漢字指導

### 評価のポイント

- ・甲骨文字・金文にまでさかのぼり、漢字の成り立ちを指導し、古代人の民俗等の理解にまでつながる指導を実践している。
- ・白川博士や阿辻哲次氏の書籍を輪読し、漢字についての生徒の理解を深めている。

### 実践内容

#### 社会教育での実践(小学校での放課後教室など)

- (1)放課後教室に漢字学習を導入、その後参加児童の要請でゲストティーチャーとして授業を実施
  - ・「おもしろい漢字の話」として、筆順の分かりづらい漢字(凸)や書きにくい漢字(鬱)等を楽しく解説
- (2)コンピュータを活用し、古代文字表示システムを作成
  - ・「常用漢字」「人名漢字」など2500文字の古代文字を表示するシステムを開発、教材作成に活用

奈良県 漢字教育士

丹羽 孝氏

### 評価のポイント

- ・コンピュータの知識と技術を活かし教材を開発している。
- ・漢字に興味をもたせる様々な工夫で子どもたちの心をつかんでいる。

### 実践内容

#### 社会教育での実践(大書制作)

- (1)子どもたちに漢字の魅力を伝える
  - ・白川文字学をもとにした漢字の成り立ちを紹介
  - ・諸橋徹次の偉業を紹介し漢字の奥深さを味わう
- (2)「自分が最も大切にしている漢字」を選ばせる
  - ・自分が大切にしている漢字を考えることで、自分と向き合う時間を創出
- (3)巨大書(2.5×1m)を体験させる
  - ・一発勝負の体験を通して自分で判断し乗り越えることの大切さを体感させる

新潟県 書家・篆刻作家

柳澤 魁秀氏

### 評価のポイント

- ・地元・新潟県を中心に13年間で370校、1万3千人を指導している。
- ・白川氏に加え郷土の偉人・諸橋徹次氏(大漢和辞典)を紹介し、児童に漢字の魅力を伝えていく。